

事業シート(令和4年度決算)

事業名	41500	生活環境保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ いつまでも住み続けられることができる環境を整備します	
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出			
				項	1	保健衛生費		根拠計画		環境基本計画、過疎地域持続的発展計画、ごみ処理基本計画			
				目	5	生活環境費							
				担当課	森林・環境政策部	ごみ処理場建設推進課		内線	2172				

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心な生活環境を確保する。</li> <li>公害の発生防止、公害が発生した場合の被害の最小化を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。</li> <li>騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査を随時実施する。</li> <li>騒音の定期観測調査を実施する。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		11,535	10,591	3,155	3,157	2,991	△ 7,600
特定財源	国費( )						
	県費( 県移譲事務交付金、公害委任事務費、生活環境保全事業費 )	269	329	283	283	332	3
	その他( )						
一般財源		11,266	10,262	2,872	2,874	2,659	△ 7,603
個票枝番	主な事業内容						
	ポイ捨て等及び路上喫煙禁止の啓発	560	470	180	180	165	△ 305
	河川水質の定期調査	1,100	1,034	1,100	1,100	1,045	11
	公害防止のための悪臭水質立入調査	500	303	500	500	497	194
	土壌中放射性物質調査	710	779	710	710	753	△ 26
	快適環境づくり市民会議	320	261	320	320	216	△ 45
	グリーンライフin飛騨の推進				2	17	17
	環境配慮行動の促進						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		4,750
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,225	4,515	4,515	1,360	
1,441	1,406	1,406	1,123	
1,784	3,109	3,109	237	
査定額	説明			
180				
1,200				
500				
340				
660	R5新規事業(環境配慮行動促進事業補助金等)			
1,290	R5新規事業(環境配慮事業所認証制度)			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施(50事案)と騒音の観測調査を実施した。(3か所)</li> <li>5年に1度実施する自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価を実施した。(2か所)</li> <li>水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視(19地点)及び河川環境保全の啓発を行った。</li> <li>高山市快適環境づくり市民会議の活動を推進した。(グリーンマーケット(1回)、クリーン作戦(2回)の実施)</li> <li>マイマイガの発生が確認されたため、市有施設の高所に付着した卵塊の駆除を実施した。(45施設に付着した11,585個の卵塊を駆除)</li> <li>ごみの減量化(特にプラ製品削減及び食品ロス削減)に向けた具体的な施策を検討するため、快適環境づくり市民会議の中に「ごみ減量化部会」を設置し、施策検討を進めた。(4回開催)</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切に対応する。</li> <li>大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。</li> <li>長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。</li> </ul>	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施(72事案)と騒音の観測調査を実施した。(3か所)</li> <li>水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視(19地点)及び河川環境保全の啓発を行った。</li> <li>高山市快適環境づくり市民会議の活動を推進した。(グリーンマーケット(1回)、クリーン作戦(2回)の実施)</li> <li>「ごみ減量化部会」にて事業系ごみの減量化施策の検討を行い、「環境配慮事業所認証制度」を創設した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生活環境に影響のある公害事案等に対して、適切に調査、対応を行うことができた。</li> <li>近年は新型コロナウイルス感染拡大に伴う市場経済の低迷により、一時的にごみの排出量は減少したが、人口減少に対して、まだまだごみの減量化が進んでいない現状があり、引き続きごみの実態把握に務めるとともに、効果的な減量化施策を検討する必要がある。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切に対応する。</li> <li>大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を継続的に実施する。</li> <li>長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。</li> <li>事業系ごみの削減に向けた取り組みを強化する。</li> </ul>	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>快適環境づくり市民会議の活動の推進やポイ捨て、路上喫煙禁止の啓発による快適環境の保全に必要な経費を計上</li> <li>河川水質の監視に必要な経費を計上</li> <li>公害発生防止のため、悪臭や水質汚濁の立ち入り調査に必要な経費を計上</li> <li>グリーンマーケット等の開催に必要な経費を計上</li> <li>環境配慮事業所認証制度創設に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおり

事業シート(令和4年度決算)

事業名	42200	ごみ収集事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
				項	2	清掃費		根拠計画	環境基本計画、ごみ処理基本計画、過疎地域持続的発展計画		
				目	2	塵芥処理費					
担当課	森林・環境政策部	ごみ処理場建設推進課	内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の分別ルールによって出されたごみなどを適正に収集運搬する。</li> <li>家庭や事業所から排出されるごみの減量化を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの出し方と分別意識の向上を啓発する。</li> <li>ごみ処理券回収奨励金を交付し、ごみの減量化を図る。</li> <li>市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を適正に実施する。</li> <li>不適正処理(不法投棄・違反ごみ等)対策を実施する。</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
家庭ごみ(資源ごみを除く)の1人1日当たりの排出量	471g	467g	462g
ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じている市民の割合	86.5%	83.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3			R4		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		337,888	330,753	341,560	341,560	336,007	5,254
特定財源	国費( 景観改善推進事業費1/3 )	700	1,100				△ 1,100
	県費( 不適正廃棄物撤去支援事業1/2 )					622	622
	その他( 手数料・諸収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	20,690	23,081	20,690	20,690	22,340	△ 741
一般財源		316,498	306,572	320,870	320,870	313,045	6,473
個票枝番	主な事業内容						
	ごみ収集運搬業務	320,098	311,693	319,880	319,880	314,795	3,102
	無料可燃ごみ処理券回収報奨金	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	0
	ごみ処理券・ごみカレンダー等の作成	11,150	11,723	11,840	12,040	11,940	217
	ごみステーション看板更新						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		330,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
358,724	356,370	356,370	14,810	
20,430	22,690	22,690	2,000	
338,294	333,680	333,680	12,810	
査定額	説明			
337,520				
2,400				
12,340				
2,300				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化及び出し方と分別の啓発を行った。(啓発用冊子1,500冊作成、広報4回、特集号1回掲載)</li> <li>ごみ処理券回収奨励金を交付した。(58件、314,039枚回収)</li> <li>市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を実施した。(実施日数256日)</li> <li>ごみステーションに置かれた違反ごみを回収した。(随時)</li> <li>不法投棄対策を実施した。(パトロール延べ90日、通報等による出動28件)</li> <li>市内スーパーで、ごみ減量啓発(水切り袋とチラシ配布)を行った。(645人)</li> <li>資源リサイクルセンターにおいて、事業系ステーション収集ごみの開封調査及び組成分析を実施した(12月)</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>可燃ごみの減量化対策として、プラスチック製容器包装等資源ごみの混入防止対策及び食品ロス削減施策の推進などを強化する必要がある。</li> <li>違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続して実施する必要がある。</li> <li>ごみ減量化部会の検討結果及び開封調査の結果を基に、より効果的な施策を検討する必要がある。</li> <li>人口減少、少子高齢化、空家増加など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法については、引き続き検討する必要がある。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託事業者の収集時におけるパトロールの実施や不法投棄/パトロールによる不適正処理の未然防止策を実施する。</li> <li>広報等によりごみの不適正処理防止やごみの減量、分別方法の啓発を行うとともに、認証制度の導入等で事業系ごみの減量化施策を進める。</li> <li>プラスチック資源循環促進法の施行、人口減少、少子高齢化、空家増加など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法を検討する。</li> </ul>	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化及び出し方と分別の啓発を行った。(啓発用冊子2,000冊作成、広報7回掲載)</li> <li>ごみ処理券回収奨励金を交付した。(58件、334,947枚回収)</li> <li>市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を実施した。(実施日数255日)</li> <li>ごみステーションに置かれた違反ごみを回収した。(随時)</li> <li>不法投棄対策を実施した。(パトロール延べ94日、通報等による出動30件)</li> <li>市内スーパーで、ごみ減量啓発(水切り袋とチラシ配布)を行った。(723人)</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>可燃ごみの減量化対策として、紙製・プラスチック製容器包装等資源ごみの混入防止対策及び食品ロス削減施策の推進などを強化する必要がある。</li> <li>違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続実施する必要がある。</li> <li>ごみ開封調査などを定期的に実施し、その結果を基に、より効果的な施策を検討する必要がある。</li> <li>人口減少、少子高齢化、空家増加など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法については、引き続き検討する必要がある。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託事業者の収集時におけるパトロールの実施や不法投棄/パトロールによる不適正処理の未然防止策を実施する。</li> <li>広報等によりごみの不適正処理防止やごみの減量、分別方法の啓発を行うとともに、認証制度の普及等で事業系ごみの減量化施策を進める。</li> <li>プラスチック資源循環促進法の施行、人口減少、少子高齢化、空家増加など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法を検討する。</li> </ul>	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ減量化及び資源化の推進に必要な経費を計上</li> <li>適正な収集運搬に必要な経費を計上</li> <li>監視パトロールの実施による不法投棄防止対策に必要な経費を計上</li> <li>ごみステーション看板更新に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	42210	ごみ焼却処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築	
				項	2	清掃費		環境基本計画、ごみ処理基本計画、過疎地域持続的発展計画			
				目	2	塵芥処理費		根拠計画			
担当課	森林・環境政策部	ごみ処理場建設推進課	内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ焼却処理を実施する。	概要	・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を実施する。 ・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を実施する。
----	---------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		330,937	327,414	291,753	345,080	323,720	△ 3,694
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( 使用料・手数料等 )	95,620	83,137	95,620	95,620	88,612	5,475
一般財源		235,317	244,277	196,133	249,460	235,108	△ 9,169
個票枝番	主な事業内容						
	資源リサイクルセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	162,000	145,355	147,000	147,000	141,219	△ 4,136
	久々野クリーンセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	27,000	36,080	27,000	27,000	27,500	△ 8,580
	ごみ焼却施設の管理運営	74,937	79,202	74,753	128,080	114,834	35,632
	資源リサイクルセンター廃棄物(木くず等)処理委託	60,000	60,109	36,000	36,000	33,286	△ 26,823
	久々野クリーンセンター廃棄物(焼却灰等)処理委託	7,000	6,668	7,000	7,000	6,881	213

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		207,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
386,336	370,342	370,342	78,589	
84,870	87,620	87,620	△ 8,000	
301,466	282,722	282,722	86,589	
査定額	説明			
130,000				
35,000				
161,342				
37,000				
7,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの焼却処理及び施設の維持管理を適正に実施した。</li> <li>資源リサイクルセンター焼却日数 350日間</li> <li>久々野クリーンセンター焼却日数 186日間</li> <li>・設備の点検整備による性能維持及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、安全で適正なごみ焼却処理を継続して実施した。</li> <li>・焼却ごみ量に応じて2つの焼却施設の効率的な運転を行った。</li> <li>・可燃性粗大ごみを適正に処理していく必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延命化計画に従い、2つの焼却施設の性能の維持を図り、安全で適正なごみ焼却処理を継続する。</li> <li>・可燃性粗大ごみ及び焼却灰を適正に処理する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの焼却処理及び施設の維持管理を適正に実施した。</li> <li>資源リサイクルセンター焼却日数 357日間</li> <li>久々野クリーンセンター焼却日数 192日間</li> <li>・設備の点検整備による性能維持及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、安全で適正なごみ焼却処理を継続して実施した。</li> <li>・焼却ごみ量に応じて2つの焼却施設の効率的な運転を行った。</li> <li>・可燃性粗大ごみを適正に処理していく必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延命化計画に従い、2つの焼却施設の性能の維持を図り、安全で適正なごみ焼却処理を継続する。</li> <li>・可燃性粗大ごみ及び焼却灰を適正に処理する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・適正な焼却処理、排ガス等の監視に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和4年度決算)

事業名	42215  ごみ処理施設建設事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	便利で強い社会基盤を整備します
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
			項	2	清掃費		根拠計画		環境基本計画、ごみ処理基本計画		
			目	2	塵芥処理費						
担当課	森林・環境政策部  ごみ処理場建設推進課	内線	2291								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ処理施設を建設する。	概要	・広く住民の理解を得て、ごみ処理施設の建設を進めるため、必要な調査等を行う。 ・ごみ処理施設建設に係る各種設計、建設
----	---------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		80,430	46,506	134,837	140,178	62,924	16,418
特定財源	国費(ごみ処理施設整備事業費等)	15,200	8,200	33,200	33,200	2,936	△ 5,264
	県費( )						
	その他(ごみ処理施設整備基金繰入金、地方債ほか)	37,000	20,900	93,000	93,000	54,478	33,578
一般財源		28,230	17,406	8,637	13,978	5,510	△ 11,896
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	ごみ処理施設建設	77,130	43,206	131,537	136,878	59,624	16,418
	資源RC理立処分地設計業務						

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		3,388,000	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
3,408,680	3,406,100	3,406,100	3,271,263				
891,000	891,000	891,000	857,800				
1,503,000	2,478,000	2,485,000	2,392,000				
1,014,680	37,100	30,100	21,463				
査定額	説明						
3,374,800	継続費R4~R7						
8,000							

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理施設建設検討委員会の開催(3回)</li> <li>ごみ処理施設建設事業者選定委員会の開催(2回)</li> <li>ごみ処理施設建設に係る施設の基本設計の作成</li> <li>施設の基本設計に係る市民説明会の開催(市内3箇所 本庁・久々野支所・国府支所)</li> <li>ごみ処理施設の建設敷地造成実施設計の作成</li> <li>ごみ処理施設建設に係る周辺環境への影響分析調査書の作成</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設建設に必要な事項(施設規模、焼却方式、排ガス自主規制値、煙突高等)をまとめた基本設計をごみ処理施設建設検討委員会の答申やパブリックコメント、市民説明会等を踏まえて策定した。</li> <li>地元4町内会と新施設の建設や稼働に関する協定書等を締結した。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理施設建設事業者選定委員会を開催し、施設の基本設計を踏まえた発注仕様書及び建設事業者選定に係る評価基準等を作成し、施設を建設する事業者を選定する。</li> <li>新施設の令和8年2月竣工を目指して、施設建設敷地の造成工事を早期に発注する。</li> <li>事業の進捗状況について、広報たかやま等で市民に情報発信を行う。</li> </ul>	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理施設建設事業者選定委員会の開催(2回)</li> <li>ごみ処理施設の建設敷地造成工事発注</li> <li>ごみ処理施設建設工事発注</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理施設建設事業者選定委員会を開催し、施設の基本設計を踏まえた発注仕様書及び建設事業者選定に係る評価基準等を作成し、施設を建設する事業者を選定した。</li> <li>ごみ処理施設建設工事及び敷地造成工事を発注した。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新施設の令和8年2月竣工を目指して、工事進捗を管理する。</li> <li>事業の進捗状況について、広報たかやま等で市民に情報発信を行う。</li> <li>地元要望である第一次理立処分地の公園化に着手する。</li> </ul>	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ処理施設建設に係る工事に必要な経費を計上</li> <li>資源RC理立処分地設計業務に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	42215 ごみ処理施設建設事業費	区分	<input type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	森林・環境政策部 ごみ処理場建設推進課
枝番・内容	1 ごみ処理施設建設		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	4		衛生費
			<input checked="" type="checkbox"/> その他重要事業		項	2	清掃費	作成年月	R5.8
			<input type="checkbox"/>		目	2	塵芥処理費		

事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ処理施設を建設する。	概要	・広く住民の理解を得て、ごみ処理施設の建設を進めるため、必要な調査等を行う。 ・ごみ処理施設の設計、建設
----	---------------------	----	---

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	76,970
	繰越	6,344
	補正等	160
	最終	83,474
決算額		43,206
対前年度増減額(決算)		4,214

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	131,537
主な経費	・敷地造成工事	
	・建設に係る発注支援業務	
	・建設工事監理等業務	
	・建設事業者検討委員会の報酬、費用弁償 等	
対前年度増減額(当初予算)		54,567

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	131,537
	繰越	5,390
	補正等	△ 49
	最終	136,878
決算額		59,624
対前年度増減額(決算)		16,418

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	3,383,000
主な経費	・ごみ処理施設建設	
	・建設敷地造成工事	
	・資源RC理立処分地設計業務	
対前年度増減額(当初予算)		3,251,463

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理施設建設検討委員会の開催(3回)</li> <li>・ごみ処理施設建設事業者選定委員会の開催(2回)</li> <li>・ごみ処理施設建設に係る施設の基本設計の作成</li> <li>・施設の基本設計に係る市民説明会の開催(市内3箇所 本庁・久々野支所・国府支所)</li> <li>・ごみ処理施設の建設敷地造成実施設計の作成</li> <li>・ごみ処理施設建設に係る周辺環境への影響分析調査書の作成</li> </ul> <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設建設に必要な事項(施設規模、焼却方式、排ガス自主規制値、煙突高等)をまとめた基本設計をごみ処理施設建設検討委員会の答申やパブリックコメント、市民説明会等を踏まえて策定した。</li> <li>・地元4町内会と新施設の建設や稼働に関する協定書等を締結した。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理施設建設事業者選定委員会を開催し、施設の基本設計を踏まえた発注仕様書及び建設事業者選定に係る評価基準等を作成し、事業者を選定する。</li> <li>・新施設の令和8年2月竣工を目指し敷地造成工事を早期に発注する。</li> </ul>

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理施設建設事業者選定委員会の運営</li> <li>・ごみ処理施設の建設敷地造成工事発注</li> <li>・ごみ処理施設建設工事発注</li> </ul> <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4月～建設工事の入札公告</li> <li>6月～敷地造成工事の入札公告</li> <li>9月～敷地造成工事発注</li> <li>9月～12月 建設工事の事業者選定</li> <li>12月 建設工事の発注</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R3完了</li> <li><input type="checkbox"/> R4完了予定</li> </ul>

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理施設建設事業者選定委員会の開催(2回)</li> <li>・ごみ処理施設の建設敷地造成工事発注</li> <li>・ごみ処理施設建設工事発注</li> </ul> <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理施設建設事業者選定委員会を開催し、施設の基本設計を踏まえた発注仕様書及び建設事業者選定に係る評価基準等を作成し、施設を建設する事業者を選定した。</li> <li>・ごみ処理施設建設工事及び敷地造成工事を発注した。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新施設の令和8年2月竣工を目指して、工事進捗を管理する。</li> <li>・事業の進捗状況について、広報たかやま等で市民に情報発信を行う。</li> </ul>

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理施設建設工事</li> <li>・建設敷地造成工事</li> <li>・資源RC理立処分地設計業務</li> </ul> <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R4～敷地造成工事、施設建設(設計)</li> <li>6月 資源RC理立処分地設計業務</li> <li>10月～施設建設工事着手</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R4完了</li> <li><input type="checkbox"/> R5完了予定</li> </ul>

事業シート(令和4年度決算)

事業名	42220	ごみ埋立処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
				項	2	清掃費		根拠計画				環境基本計画、ごみ処理基本計画、過疎地域持続的発展計画
				目	2	塵芥処理費						
担当課	森林・環境政策部	ごみ処理場建設推進課	内線	2960								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水処理施設の適正管理と臭気の発生防止などによる安全な埋立て処理を実施する。	概要	・廃棄物の埋立処理を実施する。 ・汚水処理施設を維持管理する。
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		73,022	62,238	63,610	65,490	60,888	△ 1,350
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( 使用料・手数料等 )	27,212	23,474	27,212	27,212	24,441	967
一般財源		45,810	38,764	36,398	38,278	36,447	△ 2,317
個票枝番	主な事業内容						
	埋立処分地の管理運営	63,022	53,745	60,610	62,490	58,578	4,833
	埋立処分地跡地活用に向けた調査等	10,000	8,493	3,000	3,000	2,310	△ 6,183

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		48,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
106,931	76,930	76,930	13,320			
24,187	25,212	25,212	△ 2,000			
82,744	51,718	51,718	15,320			
査定額	説明					
73,930						
3,000						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荳川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業を実施した。(312日)</li> <li>設備の点検整備及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。</li> <li>第1次埋立処分地の跡地活用に向けた調査及び久々野クリーンセンターの廃止に向けた調査(安定化調査等)を実施した。</li> <li>可動式破砕機の更新を実施した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、臭気が抑えられ、ごみの飛散などが無い、適正な埋立処分を実施した。</li> <li>空家整理やリフォームの増加による粗大ごみ、新型コロナウイルスの影響による片付けごみが増加している。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理を実施する。</li> <li>可燃性粗大ごみの適正処理を実施する。</li> <li>埋立処分地の延命化対策を検討する。</li> <li>第1次埋立処分地の跡地活用に向けた調査や県との協議等を継続し、今後の方針を検討する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荳川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業を実施した。(313日)</li> <li>設備の点検整備及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。</li> <li>第1次埋立処分地の跡地活用に向けた調査及び久々野クリーンセンターの廃止に向けた調査(安定化調査等)を実施した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、臭気が抑えられ、ごみの飛散などが無い、適正な埋立処分を実施した。</li> <li>空家整理やリフォームの増加による粗大ごみ(片付けごみ)が増加している。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理を実施する。</li> <li>可燃性粗大ごみの適正処理を実施する。</li> <li>埋立処分地の延命化対策を検討する。</li> <li>第1次埋立処分地の跡地活用に向けた調査や県との協議等を継続し、今後の方針を検討する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・適正な埋立処理、排水等の監視に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	42240 資源化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	2	清掃費		根拠計画				環境基本計画、ごみ処理基本計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	塵芥処理費						
担当課	森林・環境政策部 ごみ処理場建設推進課	内線	2960								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化を図る。</li> <li>排出された粗大ごみ等を再使用し、ごみの減量化を図る。</li> <li>資源の循環により循環型社会の形成を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化装置設置に対し補助する。</li> <li>粗大ごみ等のリフォーム及びリフォーム製品フェアを開催する。</li> <li>ごみの出し方と分別及び資源化の啓発並びに資源ごみの集団回収の奨励を行う。</li> <li>資源ごみの収集運搬選別及び施設の適正な稼働を行う。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
家庭系ごみの資源化率	28%	28%	30%

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		208,133	189,829	203,943	203,746	181,173	△ 8,656
特定財源	国費( )						
	県費(産業廃棄物立入検査事業費)	10	1	10	10	1	0
	その他(物品売払収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	13,000	45,689	23,600	23,600	85,204	39,515
一般財源		195,123	144,139	180,333	180,136	95,968	△ 48,171
個票枝番	主な事業内容						
	資源回収団体奨励金	7,978	3,368	8,000	7,972	5,128	1,760
	資源リサイクルセンター施設の維持管理	14,492	13,705	24,413	24,502	17,804	4,099
	廃棄物資源化の委託	181,220	168,620	166,900	166,900	154,097	△ 14,523
	不用品リフォーム	3,900	3,593	3,900	3,900	3,672	79
	家庭用生ごみ堆肥化装置設置に対する助成	543	543	700	472	472	△ 71

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		174,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
199,852	187,813	187,813	△ 16,130	
7	10	10	0	
15,613	19,100	19,100	△ 4,500	
184,232	168,703	168,703	△ 11,630	
査定額	説明			
7,000				
14,443				
161,570				
4,100				
700				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化装置設置補助金を41件交付し、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発を実施した。</li> <li>リフォーム製品フェアを18回(支所開催含む)開催し、273個を販売した。</li> <li>小型家電を収集し、処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)で受け入れた。(368t)</li> <li>資源回収事業での奨励金を70団体に交付した。</li> <li>収集したごみを選別・圧縮・減容等により資源化するとともに、拠点集積所を適正に管理した。(51日開設)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>缶や不燃ごみから回収した鉄類などの有価物を売却し、財源の確保に努めた。</li> <li>新型コロナウイルスの影響により、PTAや市民団体による集団資源回収の回収量が減少した。</li> <li>容器包装の軽量化や、集団資源回収量の減少などが見られる反面、小型家電の回収や民間事業者による資源物回収により、資源ごみの量は維持されている。</li> <li>リフォーム製品フェアの開催は、高山地域及び支所地域で行っており一定の周知が図られているが、新型コロナウイルスの影響により3回中止した。(21回開催を計画していたが18回の開催となった)</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化や資源化推進のため、家庭における生ごみ処理の促進、資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。</li> <li>不燃ごみから鉄類などを選別し、資源物回収に努める。</li> <li>民間企業による資源物回収量の把握に努める。</li> <li>市内全域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を感染対策に配慮しながら継続して実施する。</li> <li>プラスチック製容器包装や紙製容器包装等資源ごみの分別徹底を周知する。</li> </ul>

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ堆肥化装置設置補助金を36件交付し、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発を実施した。</li> <li>リフォーム製品フェアを22回(イベント、支所開催含む)開催し、348個を販売した。</li> <li>小型家電を収集し、処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)で受け入れた。(384t)</li> <li>資源回収事業での奨励金を69団体に交付した。</li> <li>収集したごみを選別・圧縮・減容等により資源化するとともに、拠点集積所を適正に管理した。(51日開設)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>缶や不燃ごみから回収した鉄類などの有価物を売却し、財源の確保に努めた。</li> <li>新型コロナウイルスの影響により、PTAや市民団体による集団資源回収量の減少が続いている。</li> <li>容器包装の軽量化や、集団資源回収量の減少などが見られる反面、小型家電の回収や民間事業者による資源物回収により、資源ごみの量は維持されている。</li> <li>リフォーム製品フェアの開催は、高山地域及び支所地域で行っており一定の周知が図られている。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの減量化や資源化推進のため、家庭における生ごみ処理の促進、資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。</li> <li>不燃ごみから鉄類などを選別し、資源物回収に努める。</li> <li>民間企業による資源物回収量の把握に努める。</li> <li>市内全域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を継続して実施する。</li> <li>プラスチック製容器包装や紙製容器包装等資源ごみの分別徹底を周知する。</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ減量化及び資源化の推進に必要な経費を計上</li> <li>資源ごみの適正な収集、選別作業に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり